

おひさま

発行：  社会福祉法人 えどがわ

東京都江戸川区一之江 3-2-2

発行責任者：法人事務局

2017 年 12 月 25 日
第 20 号



子どもだって考えています

社会福祉法人えどがわ
理事長 田澤 茂

(江戸川区私立幼稚園協会会長)
(東一の江幼稚園理事長)

今年も 1 年が過ぎました。年齢を重ねると「どうしてこんなに 1 年が早く過ぎるのか。」とつくづく思います。聞いたところによると、5 歳児は生まれて 5 年の経験、10 歳児は 10 年の経験しかないので、1 年がゆっくりと過ぎるのだそうです。しかし、人生 60 歳、70 歳と過ぎると、その年齢分だけいろいろな経験をしてきたので、1 年が早く感じられるのだそうです。

小さな子ども達は、これから 1 年 1 年新しいことを経験して未知の世界を少しずつ知っていくのです。わからないことをわかっていくことの喜びをたくさん知ってほしいと思います。子ども達の知る喜びを感じ、成長していく機会を大人達は決して摘み取ってはいけないと思います。

大人から見ると、子ども達の行動に意味が感じられないと思うことがあるかもしれません。でも、子どもの側から言わせると、どんな行動にも 1 つ 1 つ理由があるのです。朝、目が覚めて、中々布団から出られず、時間がかかる子どもでも、布団の中でどうした



ら楽に起きられる方法はないかと考えているのかもしれませんが。着替えが遅い子どもも袖を通しながら、もっと楽に着替える方法を考えているかもしれません。でも、朝の時間のない時に毎日同じことをされたら心の広い大人でもイライラすると思います。心に余裕が出来たら、ほんの少しでも子どもの気持ちに添ってあげられたら、大人も子どもも少しは幸せな気持ちになれるのではないのでしょうか。

子ども達に「どうして毎日同じことを言わせるの」「何回言ったらわかるの」このような言葉を投げかけていませんか。大人が毎日同じことを言っていたら視点を变えて、子どものマイナスの行動だけを見るのではなく、子どものプラス面を見つけて褒めてみましょう。いつもと違う 1 日が始まると思います。大人でもロダンの「考える人」ではないですが、考え込むことがあります。大人だって失敗することがありますし、大人だからいつも立派に生活をしないではいけない、子どもの手本にならなくてはいけないと常に考えていると、大人自身はもとより、その姿を見ている子どもも疲れます。人生少しぐらい失敗してもいいんだ、いつもうまくいくとは限らない、と肩の力を抜いて大人は生活してほしい。いつも何かを考えているその姿から、子ども達はゆっくりとその考えを広げていくことでしょう。人生は楽しいと思える家庭であってほしいと思っています。



秋晴れを全部東京に持ってきたような素晴らしい天気の中、江戸川区主催のさわやか体育祭におひさま保育園 20 園の 5 歳児が参加しました。初めは、人の多さと立派な競技場に驚いていた子ども達。職員の笑顔に次第にいつもの姿を取り戻し、その子ども達の様子で、多くの笑顔が繋がる、楽しい時間となりました。

パラバルーンの演技は、子ども達にとって心が動かされるような体験になったのではないのでしょうか。限られた時間の中で、職員の想い、子ども達の気持ち、当日を迎えるまでにどんな事を考え、何を思い、進めてきたのかを感じられる良い演技になったと思います。就学した際に「保育園の時一緒にパラバルーンしたことあるよね？」と友だちになるきっかけの 1 つとなると嬉しく思います。卒園までの 3 ヶ月間、子ども達の健やかな成長を見守っていきたいと思います。

最後になりましたが、お忙しい中、応援に駆けつけていただいた保護者の皆様、関係各所の皆様、どうもありがとうございました。

鹿骨おひさま保育園 榎本 光司





平成29年度東京都功労者表彰・区政功労者表彰

評議員 福井 徹人先生におかれましては、長年にわたり東京都の福祉に貢献された実績が称えられ、福祉・医療・衛生功労の分野において東京都功労者表彰を受賞されました。

また、評議員 芦田 光由先生におかれましては、長年にわたり江戸川区の区民の生活と文化の向上に尽くされた功績が称えられ、教育の振興および文化の向上に貢献の分野で区政功労者表彰を受賞されました。職員一同、お慶びいたします。おめでとうございます。



レッツ★うみダンス！



清新おひさま保育園の5歳児は、日本財団「海と日本のプロジェクト」の一環で「うみダンス」に参加しました。緑と水が多い江戸川区に住む子ども達。「うみダンス」に対し、とても関心を持ち、楽しく取り組むことができました。8月下旬には「Tokyo MX」テレビの撮影も入り、ドキドキワクワクしながら、とても素敵なダンスを見せしてくれました。後日、子ども達から運動会で踊りたいという声が多く出たため、運動会のオープニングでも披露し、今では他年齢の子ども達も大好きになり、保育園全体で踊っています。

「海と日本のプロジェクト」に参加し、「うみダンス」を楽しめたことはもちろん、海について考える時間を作ったことで、子ども達は自然に関心を持ち、5歳児は、散歩に行った葛西臨海公園の海岸でゴミ拾いを行いました。子ども達に「自然を大切にしたい！」という気持ちが芽生えたことをとても嬉しく感じています。これからもその気持ちを大切にしていきたいと思います。

清新おひさま保育園 宮崎 裕太郎

■清新おひさま保育園の子どもたちの「うみダンス」は、「海と日本のプロジェクト」

ホームページより視聴することができます。 <http://uminohi.jp/dance/dance.html>

総合防災訓練を実施しました

今年度も災害時に備え、法人総合避難訓練を平成29年11月16日実施しました。大震災が実際に起きた場合、ライフラインの切断・建物損壊・要救助者の安全確保が必要となります。今回は大震災による停電の想定を行い、巡回や避難指示等放送器具を使用出来ない状況で各園行いました。「災害時に備える」ということは避難方法を知る事、備える事。そして避難方法を「知っている」から「やっている」にする事が大切だと思いました。首都直下型発生率今後30年で70%。今日かもしれない災害に備えて、今後も実施していきたいと思えます。

おひさま園長会 危機管理部会



おひさま TOPICS

『大きくなったね会に向けて』 鹿骨おひさま保育園



「大きくなったね会」は、第10回の実施となり、3.4.5歳児が区民館ホールで歌や劇を披露します。園のホールとは違い、舞台・スポットライト・幕に子ども達はドキドキすることでしょう。それでも舞台での体験はきっと大きな達成感と自信に繋がると思います。

今年度は、5歳児は手話歌、4歳児はボディパーカッションを取り入れました。手話歌では手話の先生に監修していただいた鹿骨おひさまバージョン「ありがとうの花」は保護者の方の涙腺がゆるむかもしれません。劇は日頃の読み聞かせで子ども達が好きな本から選びましたので、子ども達は自分のセリフだけではなく、友達のセリフも覚え、振り付けも出来ます。舞台だけではなく幕内でも楽しそうに繰り広げている子ども達です。

当日は、子ども達一人ひとりが緊張しながらも輝いている姿を披露します。

園長 川田 秀子

『園内芋ほり』 春江おひさま保育園



春江おひさま保育園には大きな畑があります。雑草抜きや土起こしなど、子ども達と職員が協力し、畑の畝づくりを行い、7月に芋の苗を植えました。散歩の時に畑の前を通りながら、つるや葉がすくすく生長する姿を子ども達と楽しみにしていました。11月に入ると、いよいよ芋ほりです。1歳児か

ら5歳児まで、みんなで掘ったさつま芋は大きいものから小さいものの全部で約300個ありました。さつま芋が土から出てくると大喜び!「早く食べたいなあ〜。」「持って帰っていいの?」とお気に入りの芋を抱えている姿もありました。暫く天日に干し、11月の終わりに園で炭火を使った焼き芋大会を実施。朝から焼き芋の香りがただよう園内。日頃お世話になっている学校や近隣の方々におすそ分けをし、喜んでいただけました。

自園の畑で植えつけから収穫、そして美味しく食べることができ、楽しい体験をすることができました。

梅津 祐美子

おひさま TOPICS

『きなこ作り』 松江おひさま保育園



11月6日に4歳児の子ども達が食育の一環としてきなこ作りを行いました。材料の大豆は、夏に育てた枝豆を乾燥させたものを使用しました。エプロンと三角巾を身につけると、わくわくと緊張が入り混じった表情で保育士の話聞いていました。大豆をホットプレートで煎ると段々と香ばしい匂いが部屋に広がり、大豆に丁度良い

焦げ目が付いたところで、順番にすりばちとすりこぎを使い、力加減やすりこぎの回し方、角度など意識しながら丁寧にすりつぶしていました。一定時間つぶすと「はぁー」と気合を入れ直し、またすりつぶす…そんな子が多く、その一生懸命な姿が可愛かったです。きなこが完成すると子ども達は大喜び！歓声も上がっていました。完成したきなこは、その日の給食の白米にかけて食べました。素材の味をじっくり感じていました。

実際に自分達で触れ、作ることで食に興味や親しみをもち、意欲に繋がっていくということを今回のきなこ作りで改めて感じました。

吉成 香

『にじいろ放送局』 中葛西おひさま保育園



お誕生会食の日に♪ピンポンパン♪の鉄琴の音から始まる「にじいろ放送局」は誕生児を祝う園内放送です。担当するのは5歳児の子ども達。放送時刻になると各クラスが放送に耳を傾けます。1歳児の誕生児から順に名前を読み上げ、「おめで

とうございます」の言葉の後には、各クラスから「おめでとう」の元気な声が園内に響き渡り、祝福ムードがいっぱい。担当の5歳児は、スムーズに読み上げられるかなと、ハラハラドキドキしながらの本番。終了時にはハイタッチで笑顔いっぱいの表情と成長が見られます。聞いている子ども達も名前を呼ばれ、照れたり驚いたり。給食の献立も紹介されるので益々盛り上がります。運動会や大きくなった会はもちろんですが、この「にじいろ放送局」もまた、みんなの憧れのひとつです。

岩村 弘子

保護者のみなさまの声

保育士体験をさせていただきました。当日は、子ども達と一緒にリミックスや紙芝居・絵本を読み聞かせ、給食、寝かしつけ、制作の手伝いなどを体験しました。明るく元気な子ども達から元気をもらうとともに、園で1日を過ごすことで、子どもとの普段の会話がよりリアルになりました。また、先生方が子ども一人ひとりの個性を把握し、工夫して保育して下さっていることに感激しました。本体験を通して、子ども一人ひとりには強み・弱みなどがあることを再認識し、今後の子育てに活かしていければと思います。お忙しい中、お受け入れいただき、ありがとうございました。

東小松川おひさま保育園より

保育園生活最後のお誕生会に参加しました。初めてのときは、姿を見られてしまい大泣きされ、いっそ行かないほうが良かったのかなと後ろ髪を引かれながら出社したのを思い出します。先生に高く抱き上げられ、嬉しそうにしていた小さな子どもが、もはや男の先生でも持ち上げてもらうのが申し訳ないと思う位、重く大きく成長しました。先生からの「バースデー」では、「答えられるかな」とドキドキしていた気持ちは、足を組んで答える息子に別の意味でドキドキというよりも何かに変化しました(笑)「3歳までは母親の元で」との意見を聞こえないふりをして働いてきた期間の中で、本当にこれで良いのかと悩む日もありました。誕生会に参加して、お迎えなどではなく、こちらがちょっとお邪魔する形式で見た時に初めて「子どもには子どもの生活がここにある、大丈夫なんだ」と理解することが出来たように思います。このような機会を与えていただき、感謝しています。

小松川おひさま保育園より

引継ぎ時から子ども達は新しい先生方との信頼関係も出来たようで、安心して4月を迎えることが出来ました。新しい園での生活は、子ども達にとって、区立の先生方とのお別れの寂しさを加えて尚余りある程、楽しく新鮮だったようです。新しいお道具箱や楽器、出席ノートなどに大喜びし、また様々な当番も始まり、行事も増えましたが、いずれも楽しく臨んでいるようです。給食も更に多彩な献立となりましたし、毎日、色々なことを報告してくれます。親としては、日々めきめきと成長していく子ども達に、幅広い年齢層、職歴の先生方を通じて、より多くの刺激を受けてほしいと共に“ぐっ”と抱きとめてくれる安心感のもと、優しい心や自己肯定感もしっかり育て欲しいと思います。

北小岩おひさま保育園より

区立から民営化すると知ったとき、正直かなり不安を感じました。説明会に参加し、運営体制やイベント等、大幅な変更はないとわかって、なかなかイメージが湧かず、子どもへの影響を心配していました。しかし、民営化半年前から新しい先生が来て、子ども達がすぐに懐いている姿を見、毎日連絡ノートに子どもの様子を丁寧に書いてくださることで、少しずつ「本当に今までと変わらないんだな」と安心できたように思います。おひさま保育園になって半年以上経ちましたが、毎日子ども達が楽しそうに通う様子や日々の献立、運動会やイベントにも満足しています。これからも先生方にご協力いただきながら子ども達の成長を見守っていきたいと思います。

北小岩おひさま保育園より

今年の秋祭りは、地域の学生さんをお願いしてヒートアップを開催して貰いました。小さい子も大きい子も男の子も女の子も楽しめるように踊りを入れ、怖くないようにと色々工夫して頂きました。当日は目の前で繰り広げられる迫力あるパフォーマンスに子ども達は大喜びでした。今までのイベントは参加者側でしたが、今回主催者となった事でイベントが開催されるまでにたくさんの準備や打合せが必要なることを知りました。今まで役員をして頂いた方への感謝の気持ちや業務をしながら運動会、発表会といったイベントの準備を行って頂いている先生方大変さを再認識しました。これからも子ども達が楽しめるイベントを協力し合いながら出来ればと思います。

葛西おひさま保育園より

給食だより

「こ食」という言葉を聞いたことがありますか。これは近年の食生活の中で増えつつあり、社会環境やライフスタイルの変化とともに、家族そろって食事をする機会が減少しています。

最近の家族の中に存在する6つの「こ」食がもたらす問題

- ①「孤食」→子どもが1人ぼっちの食事
- ②「個食」→家族それぞれが違うメニューで食べる食事
- ③「固食」→自分の好きなものだけ（固執したものだけ）を食べる食事
- ④「子食」→親不在できょうだいなど子どもだけでの食事
- ⑤「小（少）食」→いつも食欲がなく、食べる量が少ない食事
- ⑥「粉食」→パンや麺など、粉を使った主食に偏った食事

この6つの「こ食」で、社会性、協調性、コミュニケーション力、偏食、食欲、咀嚼力と言った、子どもの“こころ”と“からだ”の成長に大事なことを学ぶ機会が失われていると言われています。食卓はコミュニケーションの場であり、子どもが食経験を広げる場でもあります。子どもの「こ食」が増えることで、食や命の大切さを知る機会が減ることにもなります。各家庭の事情もあるので毎日一緒に食卓を囲むことは難しいという場合もあると思いますが出来る限りの対策をして、楽しい食卓の思い出がいつまでも残るようにしたいですね。



給食室の人気メニュー

【材料】4人分

（大人2人・子ども2人）

- ・豚肉 100g
- ・油：少々
- ・人参：中 1/2 本
- ・玉ねぎ中 1 玉
- ・大根：200g
- ・じゃがいも：中 2 個
- ・きゃべつ 70g
- ・ウイナー：3～4 本
- ・いんげん：適量
- ・水 800cc
- ・ｺﾂﾏ：2 個
- ・塩・ｺﾂﾏ：適量
- ・しょうゆ：小さじ 1～2
- ・みりん：小さじ 1



ポトフ

寒い冬に野菜たっぷりのスープはいかがですか



【作り方】

- ①人参・大根・じゃがいもは乱切り、玉ねぎはくし切り、きゃべつはざく切り、ウイナーは 2 cm の長さに切る。豚肉は角切りにする。
- ②鍋に油を入れ、豚肉を炒める。
- ③鍋に水を入れ、きゃべつとウイナー以外の野菜とｺﾂﾏを入れて 20 分くらい煮る。
- ④野菜が柔らかくなったら、きゃべつとウイナーを入れて更に煮込み、味をつける。
- ⑤最後にあらかじめ茹でておいたいんげんを飾る。



リレー随筆



『100年後も日本に残しておきたいもの』と聞かれたら、何を残しますか。私は、日本の伝承玩具や伝承遊び・わら

べ歌を残していきたいと答えます。現代の家庭での子ども達の遊び場は、戸外から屋内へと移り変わりつつあります。伝承玩具の良さは、身近な物で作れ、乳幼児期に必要とされる手や指先を使った遊びができ、1人でも複数でも遊べます。また、親から子へ。祖父母から孫へ。地域の年長者から子ども達へと伝承する事ができます。私も幼少期、羽子板遊びや手作り凧揚げ・あやとり・折り紙を伝承してもらいました。私が担任をしていた頃、子ども達にビニール袋や段ボール・牛乳

- パック等で作った、手作りの凧・独楽・羽子板を見せると「作りたい!」「遊んでみたい!」と興味津々で思い思いの物を夢中になって作り、子ども達同士で考えたり、協力しあって完成させた伝承玩具を使い、皆で戸外で遊びました。
- 平成30年度保育所保育指針が改定されるにあたり、多くの場で「幼児期の教育は遊びを通しての学習である」と言われています。伝承玩具・伝承遊びはそれにふさわしいのではと改めて思いました。伝承する事で身近な人と関わり、環境・人間関係・言葉が育まれ、指先や手を使う事で身体機能や健康に繋がります。作る事で楽しさや表現が育まれます。私自身どれだけ伝承していけるかはわかりませんが、保育の中で伝承出来る事を今後も続けていきたいと思います。まずは身近な折り紙から皆さん始めてみませんか。



東小岩おひさま保育園
園長 高石 昌子



研修に参加しました



「運動あそびの充実感に繋がる環境構成と援助のあり方」の研修に参加しました。内容は、今の子ども達の運動能力の実態や水あそ

びの指導の仕方、実技、身体表現の導入について学びました。その中で、わたしは今の子ども達の運動能力の低さに驚きました。子ども達の運動を行う機会の減少、公園、遊具の減少、ゲームの普及等、様々な影響がある中で、便利になりすぎた社会も原因の1つで

- あるということ保育者はもちろんのこと保護者の方々にも知ってもらいたいと感じました。研修は実技も含まれており、実際に子どもになりきり指導の仕方を学ぶ時間もあり、年齢に合わせた伝わりやすい表現の仕方を体験しながら学ぶことが出来ました。
- 今回の研修で、子どもの成長の中で幼児期の運動経験が大切だということを知り、たくさん経験が出来るよう運動器具を使った遊びや「のぼる」「なげる」など、36の動作を多く取り入れた遊びを日々の保育に組み込んで子ども達の運動能力の向上を目指していきたいと思いました。

西篠崎おひさま保育園
狩集 麻有

編集後記

もうすぐ年末です。平成29年は、みなさまにとってどのような年でしたか。平成30年がみなさまにとって、よい1年となりますように。

編集委員

